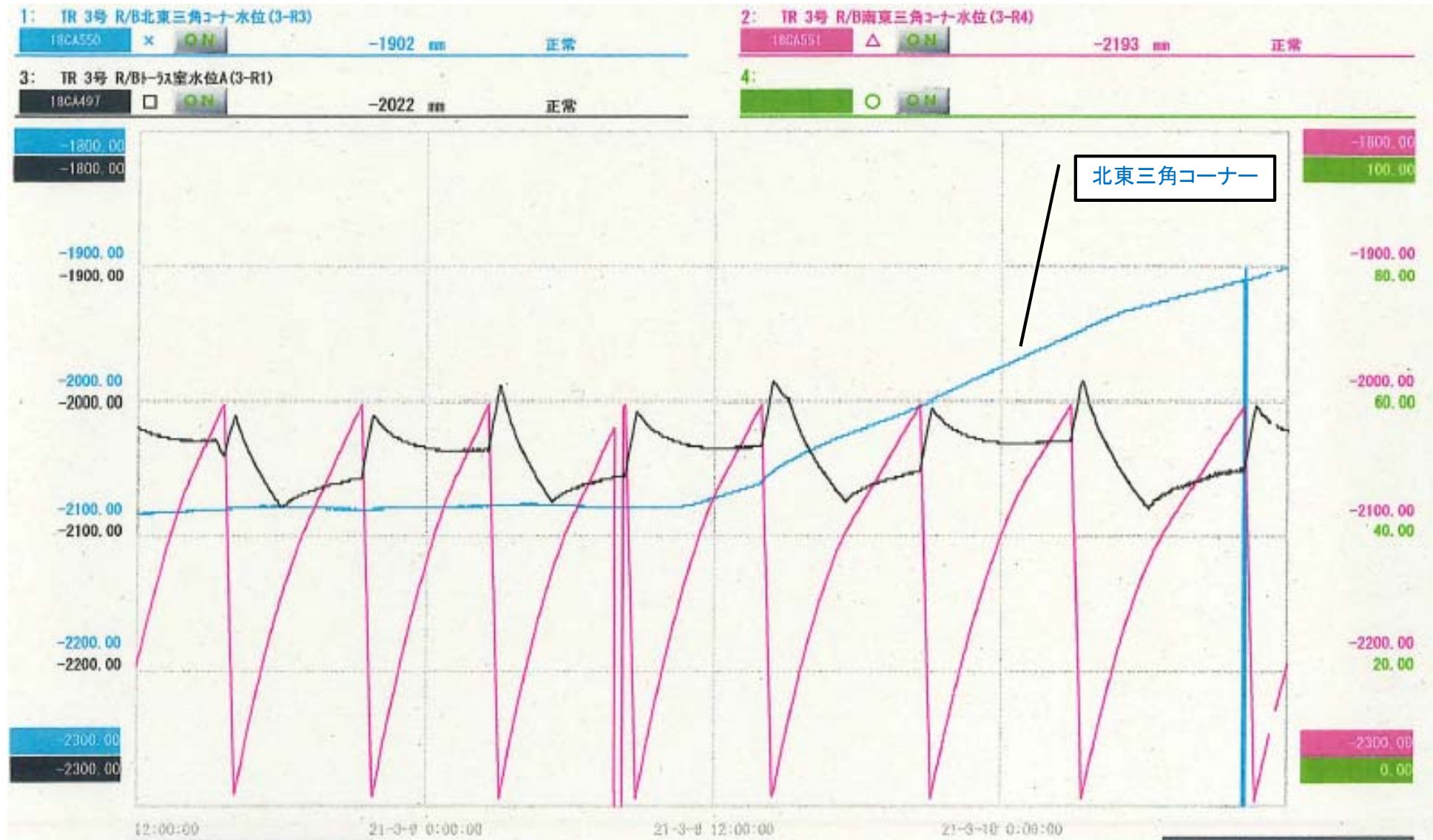


- 3号機原子炉建屋地下1階北東エリア（北東三角コーナー）の建屋滞留水水位について、3月9日午前10時時点までは約TP-2,100mmで安定的に推移していましたが、同日午前10時30分頃から水位が上昇傾向となり、本日（3月10日）午前9時時点で約TP-1,916mmであることを確認しました。
- 水位上昇の原因については、現時点で不明ですが、当該エリア水位と近傍にあるサブドレンの水位差を確保する観点から、明日（3月11日）同エリアに設置している仮設ポンプにより滞留水をくみ上げ、原子炉建屋トーラス室へ移送し、水位を調整する予定です。引き続き適切な水位を保ちつつ監視してまいります。
- なお、プラントパラメータ、モニタリングポスト・敷地境界ダストモニタ・構内排水路モニタ・海水モニタ等に異常はありません。また、3月10日15時時点の3号機原子炉格納容器水位はTP+9,572mmであり、大きな変動がないことを確認しております。
- 今後、原因調査等を進めてまいります。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋 北東エリア建屋滞留水水位の上昇傾向について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 3 月 1 0 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー



↑
北

